v

江南市地域福祉推進シンポジウム

みんなで支え、みんなで育む

『しあわせ』なまちづくり

地域共生社会をカタチにする包括的支援体制

日本福祉大学

川島ゆり子

本日の内容

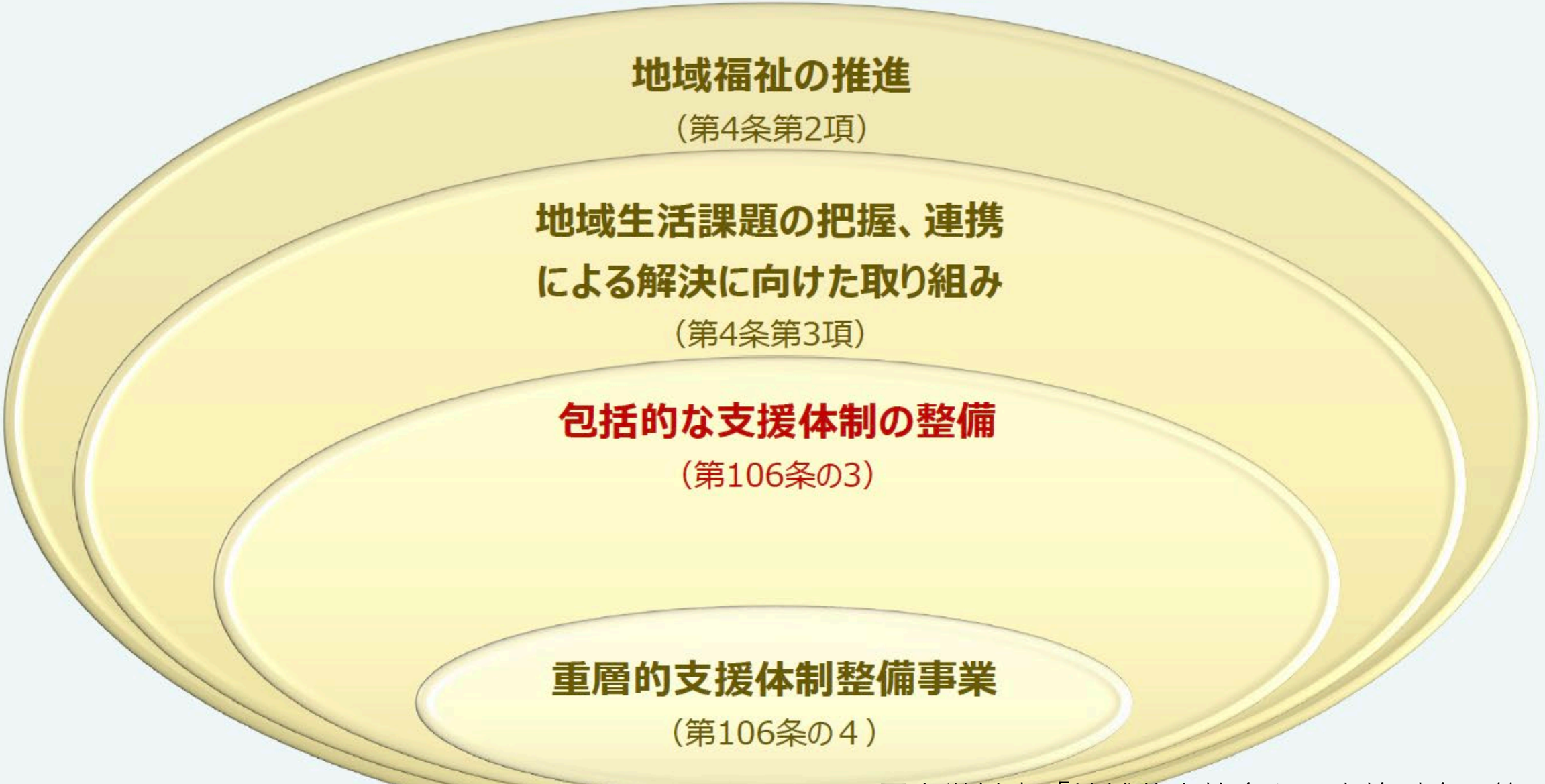
01 包括的支援体制の概要

02 めざす地域のすがた 「しあわせ」

03 キーワードとしての
シェアリング　ケアリング

04 希望をもってまちをつくろう

地域共生社会の実現（第4条第1項）



地域共生社会がなぜ　必要となってきたのか？

ひとりひとりの課題

社会的孤立
制度のはざま
先の見えない不安

個別問題の多様化・複雑化

地域の課題

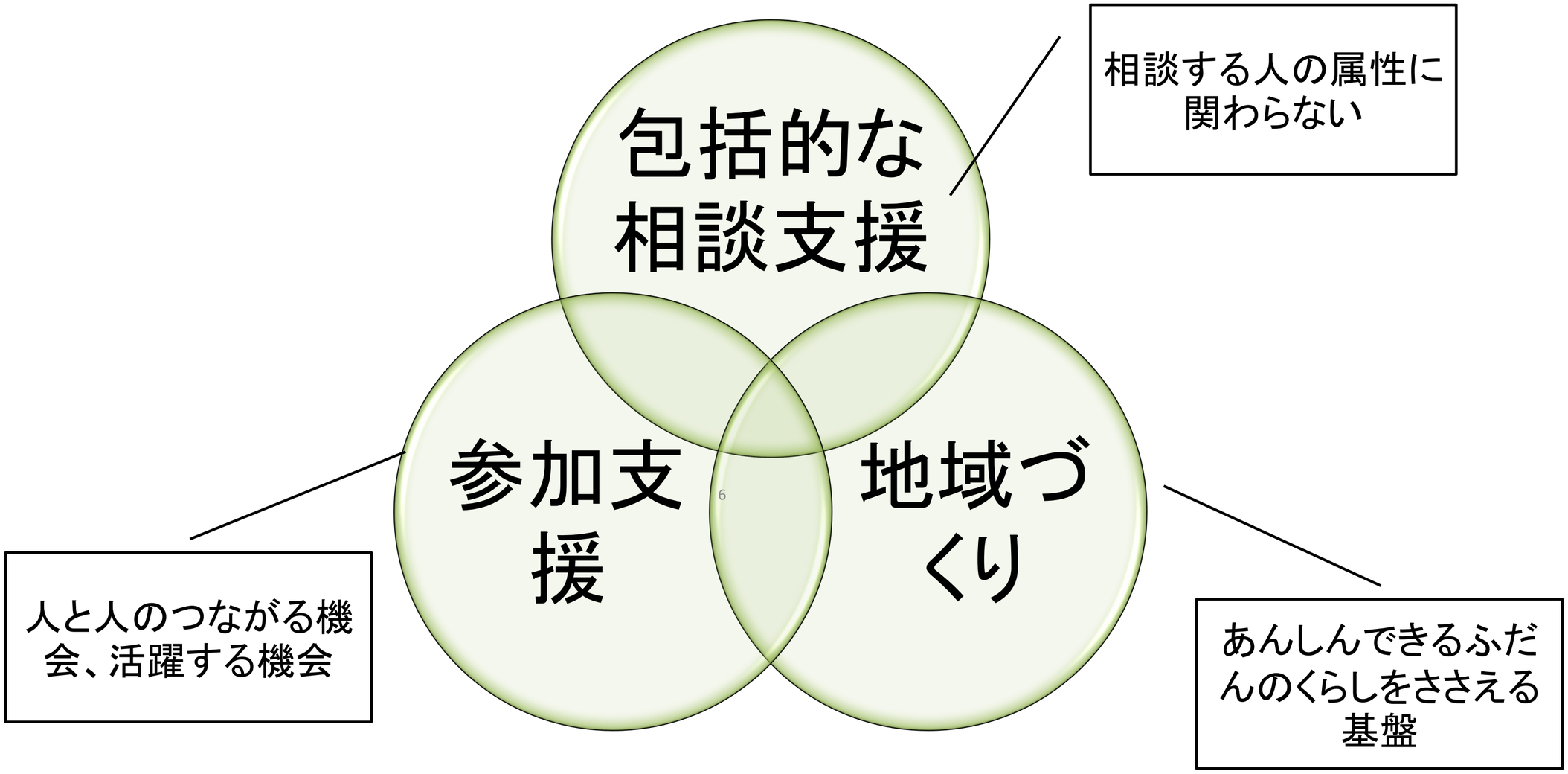
担い手の不足
地域の福祉力の脆弱化
地域社会の存続危機

少子高齢・人口減少社会

地域共生社会の実現

誰ひとり取り残さない社会を目指す

包括的支援体制　3つの柱



何をめざすのか

ウェルビーング・しあわせを創る

「しあわせ」とは？

国連「世界幸福度報告（World Happiness Report）」 2024

1位　フィンランド
2位　デンマーク
3位　アイスランド
4位　スウェーデン
5位　イスラエル

日本は・・・　55位

幸福をどのようにはかる？

一人ひとりの人生の満足度
　＋
GDP（1人あたり国内総生産）　　生活の豊かさ

社会的支援	困ったときに頼れる人がいるかどうか。
健康寿命	平均余命のうち健康で暮らせる年数
人生の選択の自由	自分の人生をどう生きるか選べる感覚
寛容さ	他者や社会への寄付・ボランティアの度合い
腐敗の少なさ	政府や企業の腐敗が少ないと感じられるか

幸福の3つのインフラ

幸福の条件（人生をささえるもの）

①自由 ← 金融資産

②自己実現 ← 人的資本

③共同体＝絆 ← 社会資本

社会資本、これは人間関係すなわち〝つながり〟のことですが、金融資産はもちろん人的資本と比べても数値化がきわめて困難です。
しかし社会資本には、とても大切な役割があります。それは、「幸福」は社会資本からしか生まれないのです

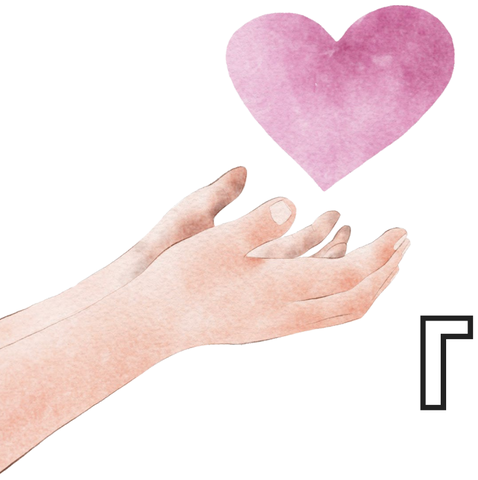
（立花玲2017『幸福の資本論』p187）

何をめざすのか

ウェルビーング・しあわせを創る

「しあわせ」とは？

人とひとのつながりの中でしか
実現できない



『しあわせ」なまちづくりを実現していくために

キーワードとしての

シェアリング　　ケアリング

気づきをわけあう

わけあう
シェアリング

包括的相談支援

・様子がおかしい
・最近元気がない
・ゴミがたまっている・・・

気づき
気にする気にかける

気づきの共有

・近隣の住民
・民生委員
・地域担当の専門職
等

・支援の検討
・情報の収集
・地域資源へのつなぎ

ニーズ（支援の必要性）へ

わけあう
シェアリング

資源をわけあう

地域のなかで使える資源（ヒト・モノ・情報・財源）を
共有する、地域を越えて共有する

役割をわけあう

できることを、担える人が分け合う
地域の中で多様な役割を創出する

参加支援

わけあう
シェアリング

参加支援

小さな成功をわけあう

小さな成功を分け合い共有することで
「自分たちにもできる」という自信が生まれ、
次の活動に結びつく。

小さな成功をより多くの人と分かち合うことの重要性、そのための機会・場を創出する

ケアリング
ケアの関係性をつむぐ

願い事を持つためには、まず自分自身の存在を確保できていないといけない。願いを支えるケアの手前には「存在を支えるためのケア」とでも呼びうるものがある

村上靖彦（2021）『ケアとは何か』中公新書，p105-6

「ケア」はケアする、されるという関係ではなく、もともとのつながりのある関係のなかで「ケアしあう関係」と理解される

大石剛史（2024）『ケアリングコミュニティの理論』p12

ケアリング
ケアの関係性をつむぐ

地域づくり

いろいろな違いはあっても
　共（とも）に生きることができる地域づくり

人と人のケア（気づかい合う）関係の中で
　地域に「居る」ことを支え合う活動の
　ひろがりを、多様な主体で一緒に考える

「希望学」

「希望」とは、実現の可能性が不確かであっても、未来において自分や社会がよりよい状態になることを信じ、そこに向けて努力や行動をしようとする力である。

- **Wish（願い）**：自分が大切に思う対象や出来事に対する気持ち。
- **Something（具体的対象）**：将来実現したいことが具体化される
- **Come true（実現）**：それが現実になることを願う。
- **Action（行動）**：ただ願うだけでなく、実現に向けて主体的な働きかけをすること

東大社研・玄田有史・中村尚史編（2009）『希望学』　東京大学出版

「希望をもってまちをつくろう」

- **Wish（願い）**：自分が大切に思う対象や出来事に対する気持ち。

この地域に住んで良かった

この地域にこれからも住み続けたい

この地域がこれからも住み続けられていってほしい

次世代への継承

「希望をもってまちをつくろう」

- **Something（具体的対象）**：将来実現したいことが具体化される

それぞれの市町村が自分たちの「まちの将来」を具体的に描く包括的支援体制の構想

「希望をもってまちをつくろう」

•**Come true（実現）**：それが現実になることを願う。

一人ひとりの地域住民・地域に関わるさまざまな専門職や
行政職員等が自分のできることを考えながら、まちの
未来を語り合う

「希望をもってまちをつくろう」

- **Action（行動）**：ただ願うだけでなく、実現に向けて主体的な働きかけをすること

誰にでも、役割があり　誰にでもできることが必ずある

一歩ずつ　一歩ずつ 「しあわせなまち」を実現するためのアクションを一人ひとりが起こす

誰もが安心して暮らせる地域
それは・・

◆**私が**困ったときに、どんなに絡まり合った難しい課題
でも、一緒に考え解決しようとする人いる安心

◆**私が**困りそうになった時、気づいてくれる人、ちょっと
した相談にものってくれる人がいる安心

◆**私が**安心できる「つながり」があるという安心

ということ